

地域名 高森町 牛牧地区
 特徴的な被害対策 緩衝帯と電気柵を組み合わせた集落ぐるみ対策

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> 山際に広がるリンゴを主体とした果樹園では以前からサルとイノシシによる加害が絶えなかった。 H17 からの緩衝帯整備を皮切りに、集落と町、野生鳥獣被害対策チームによる現地診断と集落学習会を開き、野生鳥獣被害支援チームの指導を受け、積極的な取り組みを進めている。 	
被害対策	生息環境対策	緩衝帯整備 <ul style="list-style-type: none"> サルが一旦地面に降りる状況を作るため、山林と果樹園の境の灌木等を集落住民で整理。
	防除対策	電気柵 L=770m <ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣被害対策支援チームのアドバイスを受け、線形等を決定。 維持管理についてはリンゴ団地組合で対応。
効果	被害状況	<ul style="list-style-type: none"> 電気柵内の被害はほぼ無くなった。
	その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 高森町では当地区以外にも集落ぐるみの被害対策に取り組んだ地区があり、そうした地区では被害は自分たちで防ぐという意識が根付いてきている。
住民の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> 1年前と比べてイノシシの被害は格段に減った。 	

3 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	<ul style="list-style-type: none"> 緩衝帯の機能維持

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	
---------------	--

5 問合せ先

飯伊野生鳥獣被害対策チーム

(下伊那地方事務所農政課 電話0265-53-0413

林務課 0265-53-0423)

被害対策に向けた打合せ・事前調査の状況

	
<p>現地検討（緩衝帯整備）</p>	<p>現地検討（既存のトタン柵）</p>
	
<p>現地検討後の学習会</p>	
<p>被害対策の実施状況</p>	
	
<p>電気柵</p>	<p>電気柵と緩衝帯整備</p>

